

地図	教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙			
東書				
<p>1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点</p> <p>巻末の「統計」に世界各国と日本との貿易額を示す欄があり、ほとんどの国と経済的な関係があることが理解できるよう工夫されている。また、後半の「日本全体」のページで、人口・資源・産業・貿易・文化等、様々なテーマに関して世界と日本の関係を示す資料図を掲載し、世界と日本の関係を多面的・多角的に捉えられるよう工夫されている。《⑥・⑦》</p>				
<p>2. 教育基本法に基づく観点</p> <p>「世界の環境」において、自然遺産を含めた世界の様々な自然の様子、環境問題や今後の改善等に関する写真・地図等が取り扱われている。また、生活・文化・宗教について世界の様々な地域に関する情報が提供されているものの相互の関連について理解しやすい工夫が求められる。《⑥》</p>				
<p>3. 学習指導要領に基づく観点</p> <p>巻頭の「この地図帳の活用方法」で具体例を挙げながら、「基本資料」「テーマ資料」の説明が明記されており、地図帳の使い方が理解しやすいよう工夫がされている。また、「ジャンプ」として関連した資料や地図を記載したページが記載されていたり、注目すべき視点のヒントとなるように「注目したい記号」が各地図のタイトルの下に示されたりするなど、知識の習得や理解を深めるよう工夫されている。《②・③》</p>				
<p>4. 外的要素に関する観点</p> <p>地図全体が柔らかい色調で表現されており、国名や都道府県名、地名の表記が見やすいように配慮されている。また、印刷が鮮明であり、生徒の書き込みに適した紙質であることも評価できる点である。《①・②・③》</p>				
<p>5. 構成・配列に関する観点</p> <p>「一般図」「基本資料」「テーマ資料」の3部で構成されており、基本的な学習に対する内容と詳しい資料・補う資料を掲載することで、基本的な学習と、より発展した学習ができるように配慮されている。地理的分野だけの活用ではなく、歴史的・公民的分野での活用も前提としている。ただし、歴史地図などの掲載はやや少ないことが課題点としてあげられる。《①》</p>				
<p>6. 資料その他に関する観点</p> <p>全体的に写真・グラフの量が多く、新しい内容を取り入れて、生徒が興味・関心をもって学習に取り組めるよう工夫がされている。また、「基本資料」に他分野への興味・関心を高めるための資料が多く、地図帳を使っての主体的な学習を想定していると思われる。《③》</p>				

地図

教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙

帝国

1. 大阪市教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

巻末の「統計」の「世界の主な産物」「日本の主な産物」で、様々な項目のグラフが取り扱われている。後半の「資料図」のページで、世界と日本の比較・関係等を示すグラフ、統計資料などが取り入れられており、世界と日本の関係を多面的・多角的に捉えられるよう工夫されている。また、日本の地域構成を示す地図が多く掲載されており、我が国の郷土と伝統を尊重する態度を養うことができる。《④・⑦》

2. 教育基本法に基づく観点

「世界の環境問題」で、環境が大きく変化している様子や環境を守る取り組み、今後の課題について考えることができる写真が取り扱われている。また、衣食住を中心とした生活の様子や宗教・言語等の写真、絵も配置されており、他国を尊重する態度が養われ、本校が進める国際理解教育の観点からも十分な内容であると言える。《⑤》

3. 学習指導要領に基づく観点

巻頭に「この地図帳の使い方」「地図帳の構成」を配置し、地図帳の活用方法を具体例で示し、地理的な見方や考え方などの地理的技能の基礎を築うことができるような工夫がなされている。また、「地図を見る目」で地図を見るとき視点や活用方法を示したり、「やってみよう」で、事象の確認や地図の読み取りを促したりするなど、日本や世界の地域の諸事象を地図をもとに、空間的な広がりとしてとらえる力が育成されるような構成となっている。これらの地理的技能は高等学校での地理学習につながる土台となるものであると言える。《②・③》

4. 外的要素に関する観点

資料図には鳥瞰図や立体的な絵図を多く用い、視覚的に捉えやすくなるような工夫がなされている。また、地図中の文字が録取りされているなど、見やすくなるような配慮や、大陸から見た日本列島など様々な方位からの地図を掲載することで、地図の学習に親しむ工夫が随所になされている。《①・②・③》

5. 構成・配列に関する観点

地域（州、地方）ごとに、「基本図」「拡大図」「資料図」がひとまとまりに配置されており、その地域の特色を効果的に調べ、学ぶことができるように配慮されている。また、歴史地図なども多く掲載されており、歴史学習においても有効に活用できると考えられる。《①》

6. 資料その他に関する観点

基本図では歴史的建造物や世界遺産の場所を明記し、資料図ではイラストや写真を多用するなど、生徒の興味・関心を高めるような工夫がなされている。あわせて、「やってみよう」で作業的・体験的な学習活動の例を示し、主体的な活動ができるような配慮がされている。《③》